



平成 22 年 11 月 15 日

各 位

会 社 名 K F E J A P A N株式会社  
(コード番号3061：名証セントレックス)  
本社所在地 横浜市港北区新横浜 3 丁目18番地20  
代表者名 代表取締役社長 原田 隆朗  
問合せ先 執行役員CFO管理統括本部長 田村 博行  
電話番号 045-474-1245  
(URL <http://www.kfegr.com/>)

平成 23 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想と実績の差異に関するお知らせ

平成 22 年 10 月 27 日に発表いたしました平成 23 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想と本日発表の実績につきまして、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想数値と実績値の差異  
(平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

項目	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,447	△29	△113	△131	△5,634.89
今回発表実績 (B)	3,351	△43	△89	△102	△4,421.61
増減額 (B-A)	△96	△14	24	29	—
増減率 (%)	-2.8%	—	—	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	3,944	△304	△322	7	315.89

2. 差異が生じた理由

当第 2 四半期連結累計期間の売上高に関しましては、電子部品事業の主要顧客である大手日系メーカーからの受注回復により、中国の売上高が増加しておりますが、国内売上高計上の期ずれにより、前回発表の売上高を修正いたしました。営業利益においては回復には至りませんでした。関係会社の評価見直しにより、経常利益および四半期純利益は増加し、回復の傾向が見られ、平成 22 年 10 月 27 日に開示した第 2 四半期連結累計期間の業績予想を上記のとおり修正いたします。

通期予想につきましては、当社グループのコア事業である電子部品事業の回復等を勘案した結果、修正はいたしません。

【参考資料】四半期ベース（3カ月間）では11四半期ぶりの決算の黒字化達成

前述のとおり、当社グループの事業構造改革を進めた結果、四半期ベース（3カ月間）決算では、平成20年3月期第3四半期以来、11四半期ぶりに黒字化を達成し、また純資産においては当第2四半期連結会計期間の業績回復により、81百万円（第1四半期連結会計期間は42百万円）まで回復しており、着実に業績回復期へ移行しつつあります。

ステークホルダーの方々には、約2年半に及ぶ損失を計上した期間におきまして大変ご心配をお掛けしましたが、当第3四半期以降も集中と選択を進め、更なる利益体質の向上に努める所存でございます。

第2四半期比較（3カ月間）の連結業績

（単位：百万円）

項目	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
平成22年3月期 第2四半期決算（A）	2,093	△111	△119	223
平成23年3月期 第2四半期決算（B）	1,679	21	13	18
増減額（B-A）	△414	132	132	△205
増減率（%）	△19.8	—	—	—

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性がございます。

以上